（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所　えくぼ			
○保護者評価実施期間	2025年11月1日	～	2025年11月30日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	5	（回答者数）	5
○従業者評価実施期間	2025年11月1日	～	2025年11月30日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	10	（回答者数）	10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　1月　22日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域連携・交流 法人内事業所の「ほっぺ」や保育園との合同行事。保護者同士の関わりが持てるように音楽会を計画し実施しました。	法人内事業所の「ほっぺ」や保育園と曜日を決めて交流（プール）（公園）や行事（ハロウィン・クリスマス会）を楽しんでいる。保護者同士の関わりが持てるように音楽会を土曜日に計画し実施しました。近隣をお散歩したり、近隣のお店にお買い物をすることによって近隣の方から温かく見守ってくださっていると感じる。	同法人の変わらぬ交流と、大蔵・朝霧支援センターの防災等の活動に参加し地域連携に努めたい。保護者同士の連携にも工夫を凝らして来てもらえるイベントを設定したい。
2	保護者への説明・情報共有の状況 毎日の連絡ノートやラインを活用したご家族への情報共有・音楽会・修了式・終業式卒園式（笑顔の会）の実施・（アルバム卒園時にお渡し）等	連絡ノートやラインを活用したご家族への情報共有・音楽会・修了式・終業式卒園式（笑顔の会）の実施・（アルバム卒園時にお渡し）行事ごとだけでなく日頃の様子も写真や動画に取り保護者と共有している。	少人数ならではの強みを生かし細かい情報やできたこと等変わりなく情報共有していきたい。特に医ケアの必要な児童に対しては、指示書に加え困り事は、都度保護者に確認し丁寧に取り組みたい。
3	職員の専門性と対応スキル 職員研修OJT、資格取得の為の研修、明石市のこども部会参加などを通して児童の障がいへの理解や個別特性の理解など深める機会を提供ができている。	職員研修OJT、資格取得の為の研修、明石市のこども部会参加などを通して、児童の障がいへの理解や個別特性の理解など深める機会を提供するとともにケース会議や医療会議などで、看護師、保育士の仕事の相互理解を促し共有の強化を図っています。	OJTなど漏れなく参加できるように時間の提供をしていきたい。事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルに関しても職員や家族等に周知し定期的な確認を促したい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時等の対応 マニュアル策定し災害時に備え３日分の薬や経口栄養食や注入食などお預かり、月一の訓練、ケース会議での確認共有など実地しているが保護者に実施状況の説明はできていない。	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル家族等に周知し定期的な確認していることを保護者に共有できていない事が分かった。今後は、お便りなどで、マニュアルのある事や、年間計画に沿って防災訓練を実施していることを伝え保護者にも安心していただきたい。。	災害時に備え３日分の薬や経口栄養食や注入食などのお預かりに加え、賞味期限の確認交換の際や月のお便り、お知らせに、上記の情報を掲示したり、月一の訓練時の子どもたちの様子等もを情報共有したい。
2	保護者同士の交流の浸透 保護者同士の交流の場の設定をしているが、参加者が少なく浸透しない。	土曜日に設定しているが、兄弟児の習い事やご家族のお仕事などで参加が少ない。	ご家族にとってより魅力的な行事を考えるためにアンケートを取りたい。
3	環境 歩行器を使う時に限られた動きになってしまう。トイレの便座が冷たい。入浴浴槽が小さい。	広く事業所を利用できるように必要のないものすぐに使わないものは、倉庫に入れ使えるスペースを多く取れる工夫をするとともに、暖かい日は室外での歩行器も安全に気を付けて提供したい。	トイレの便座は、清潔に気を付け貼れるタイプのカバーを購入予定。入浴浴槽の工事については、検討中

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援事業所　えくぼ

公表日　2026年　1月　22日

利用児童数　2026年　1　月　22日　回収数 5

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	2			・歩行器を乗るスペースはないのかと思います。 ・身体が大きくなったので広い方がよいと思います。	・静の動き・動の動きを分け特性に合わせて区域分けをしていることを説明する。限られたスペースをなるべく広く使えるように整理整頓を心がける。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5				・安心して預けられる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5				・写真や季節の飾りで楽しい空間です。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5				・子ども達の活動に合わせた空間だと思います。	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5				・子どもの成長に合わせた支援を受けられていると思います。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	5					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5				・しっかりされていると思います。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5				・自宅での様子を聞いて下さり無理のない範囲の内容になっていると思います。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5				・日々楽しい活動ができています。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5					
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	5				・毎日情報交換出来ています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5				・とてもそう思います。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1		1	・都合により参加出来ていませんが、交流支援は出来ていると思います。	音楽会が好評でしたので、さらにイベントを計画して家族や兄弟交流の機会を持ちたい。お知らせも早い段階からしていきたい。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5				・いつも丁寧に対応して頂いています。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	1		1	・マニュアル訓練はされていると思うが詳しい内容が分からないです。	今後も事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定されていること等保護者に周知・説明を増やしていきたい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	5					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5				・些細な事でもしっかり対応して頂いています。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	5				・暖かい雰囲気の中で安心して過ごしています。えくぼ大好き・先生大好き・お友達大好きこれからも通えたらと思います。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	5				・毎日行くと言っています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	5				・大変満足しています。	

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援事業所　えくぼ

公表日　2026年　1　月　22　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1	・静の動き・動の動きを上手く分けている。	・限られたスペースをなるべく広く使えるように整理整頓を心がける。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1	多い職員で個別のきめの細かい支援を心がけている。	・利用定員より毎日利用者は少ない、職員は多い。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		事業所の二階部分に同法人の図書館やフリースペースがあるので、そこを有効利用している。	・職員の休憩室・ロッカーもない。スタッフの高さにあった机やいすがない。事業所の二階部分に同法人の図書館やフリースペースがあるので、そこの利用を促したい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	1	・アレルギーの方もいるので消毒がきちんとできている。	・浴室とオムツ替え場が同じなので入浴中オムツ替えがしにくい。簡易的に仕切りを設けて、おむつ交換できるスペースを作る。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	5	5	・二階の会議室を利用している。	・事業所の二階部分に同法人の図書館やフリースペースがあるので、そこを利用したい。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	1	・計画達成できるように色々工夫している。 月1回アンケートを取り困りごとなど聞き取っている。	・引継ぎノート、ワークタイムノートを作り記入し、みんなで共有している。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・ケース会議で毎月問題があれば話し合いしている。 ・面談・月末の書面聞き取りがある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	3	・同法人の保護者方が評価要員として回ってくださっています。	事業所をご利用の保護者の方に事業所を見て回っていただき、評価をいただき、評価結果を業務改善につなげていることを、情報共有したい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		・勉強会・研修が充実している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	10			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		・月一回の会議ですり合わせをしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		・月一デイケアをしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		・毎朝打合せ、朝の会では支援内容の確認をしている。	・タイムスケジュールを作成すると分かりやすい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	8	2	・連絡ノートで振り返りをしている。	・ラインによる日誌の共有をしている。医務的なことは医務日誌に記入して共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		・策定会議に参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	1		・法人内の障がい福祉、保育園との連携は、できているが、他法人とは、少ない。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	2		・法人内の保育園と活動を一緒に行ったり他の幼稚園と併用利用されている方もいる。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	3		・園の見学希望あるが実現できていない。 ・今後こう言う事例はあるので、しっかり情報共有していきたい
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	6	4		・同法人の保育園とは交流はあるが地域の保育園とは、ご利用者様の情報共有しかできていない。明石のこども部会での研修に参加している。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	2		・同法人の保育園とは公園交流している。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		・送迎時に保護者と会うので共通理解を持てていると思う。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2		・明石のこども部会での研修などで知り得た情報の提供を、必要に応じてしていきたい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	10			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10			

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	1		計画相談や看護士さん保育士さんＳＴさんＰＴさん等いつでも連携できるように用意している。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	4		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	4		・出来ていないので今後考える。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	10			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		・毎日の日誌やケース会議で共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10			